

# 予算要求資料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工業研究費

## 事業名 **新**セラミックス研究所 LED 照明改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 セラミックス研究所 電話番号：0572-22-5381

E-mail：c23103@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,134 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,134	0	0	0	0	0	0	0	8,134
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

セラミックス研究所施設内の照明器具を、現在の蛍光灯から LED 照明に改修し、施設の長寿命化を図ることで、建替えの時期を延伸させる。

### (2) 事業内容

セラミックス研究所は、昭和45年に本館及び研究棟、昭和49年に機械開放棟が建設され、施設内の照明器具は蛍光灯を使用しているが、国の次世代照明への入れ替え推進に伴い、蛍光灯の生産は年々縮小されているため、今後、蛍光灯の交換が困難な状況になっていくことが予測される。

施設内の照明器具を、経済的で環境にも優しい LED 照明に改修することで、省電力、経費節減を図ることができ、同時に施設そのものの寿命を延伸化させることができる。

(3) 県負担・補助率の考え方

庁舎の工事費であり県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	8,134	施設内照明器具のLED化
合計	8,134	

**決定額の考え方**

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
施設内の照明器具をLED化し、建物の長寿命化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

○指標を設定することができない場合の理由

建物改修に係る費用であり、指標の設定に適しない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	県有施設を適切に管理するため。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設が老朽化していること。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「県有施設中長期保全計画」に基づき、建物を長寿命化させながら適正な管理運営を行っていく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】